

◎サポーターほっとニュース

「サポーターほっとニュース」では、障がい者サポーターとして登録された方の活動や、サポーター制度への期待を込めたコメントやお話などの情報を紹介していきます。

第6回目は、先日行われた障がい者サポーター研修会の模様をレポートします。

【第6回】発達障がいを理解しよう ～障がい者サポーター研修会～

障がい者サポーターの皆さんがもっと障がいについて理解を深めていただく場として、平成26年度第1回障がい者サポーター研修会を9月20日に開催しました。

今回の研修会では、「発達障がいを理解しよう」と題して、熊本県私学特別支援相談員の 浦田 裕之 さんに講演いただきました。

浦田氏は熊本県私学特別支援相談員として私立学校に通う発達障がいのある生徒への支援などで活躍され、日ごろから多くの発達障がいの方と接していらっしゃいますので、そうした経験をもとにわかりやすくお話しいただきました。

講演では、発達障がいのある方は、考え方や記憶の仕方、五感（聴覚、視覚、嗅覚、触覚、味覚）などの認知の仕方が通常と異なることで、人とのコミュニケーションなどで様々な困難さがあることや、発達障がいの方への配慮として、声かけの際は抽象的な言い方ではなく具体的に（例：きれいにしてね⇒こぼれた水を雑巾で拭いてください）、否定的な表現を避ける（例：まだ食べちゃダメ⇒「いただきます」をしてから食べましょう）ことなどを学びました。



▲浦田 裕之 さん

最後に、「理解や支援の不足により自己肯定感の低下やうつ病などの精神疾患、引きこもりなどの二次障害につながることもある。サポートは熱意だけでは空回ることも。まずは障がい特性を知り、困り感に寄り添うなどの理解と、わかりやすく丁寧に伝える心がけが大事だ」と伝え、研修会に参加した方は熱心にメモなどをとっていました。

◆ 次回研修会は 12月6日（土）開催予定です！
NHKバリバラ司会 山本シュウさんが来熊！

Topics 障がい者施設商品コンクール・サポーター審査員募集！

障がい者施設では、食品や小物などの商品を作って販売し、その売り上げが障がい者の工賃となっていますが、障がい者施設の売り上げは伸び悩んでおり、施設で働く障がい者の方々の工賃の水準は非常に低い現状にとどまっています。

そこで本市では、障がい者施設の商品力を高め、商品の販売促進を図ることで、工賃等の水準の向上につなげることを目的とした事業の一つとして、第2回目となる「平成26年度熊本市障がい者施設商品コンクール」を開催します。今回は（１）食品部門、（２）手工芸品部門、（３）アート部門、（４）オフィス部門の４部門で商品を募集し、各施設の自慢の品が一堂に会します。

そんなせっかくの機会に、障がい者サポーターの皆さんも「サポーター審査員」として参加しませんか？「わたしのお気に入り」に清き一票を投じましょう！

- ◆ イベント名 : 平成26年度熊本市障がい者施設商品コンクール
- ◆ 期日 : 平成26年11月4日（火） 10:00~12:00
- ◆ 集合場所 : ウェルパルクまもと1階大会議室
- ◆ 募集人数 : 20名（先着順）
- ◆ 応募方法 : 熊本市 障がい保健福祉課
企画調整班（096-328-2519）へ電話
- ◆ 募集〆切 : 平成26年10月24日（金） 17:15まで
- ◆ その他 : 今回商品を出品している施設関係者は応募できません。



Topics 自立の店「ひまわり」 ボランティア募集！

自立の店「ひまわり」は、知的障がい者の社会参加と自立を支援することを目的とした団体です。店内では熊本県内外の施設や作業所で作られた商品の展示・販売や、焼き立てパンや軽食を楽しめる、カフェ「ひまわり」を開いています。

「ひまわり」では、商品販売・接客など、お手伝いいただける方を募集しています。時間・曜日など、詳細は下記連絡先までお問い合わせください。

- ◆ 所在地 : 熊本市中央区新町 1-3-1
熊本中央 YMCA 内 ひまわり
- ◆ TEL/FAX : 096-359-1755

